

「大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム」に採択

平成21年度の文部科学省「大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム（大学における教育の質保証の取組の高度化）」に本学の「プラグマティズム的臨床医育成プログラム」が採択されました。

採択されたプログラムの内容は次のとおりです。

取組名称：プラグマティズム的臨床医育成プログラム

取組期間：平成21年度～23年度

概要：

臨床医には科学的根拠に基づく医学的知識、臨床技能(Hard-mind)とともに、患者の精神的、社会的状況を把握し共感する能力(Soft-mind)が必要である。臨床の現場では、科学的・医学的根拠に立脚した診断を行うとともに患者の意志、精神的・社会的状況などを加味し、患者個人にとって最も適した治療方針を決定することによって、初めて患者が満足できる医療を提供することができる。Hard-mindとSoft-mindの融合は臨床的経験によって初めて可能になるものであり、プラグマティズムに立脚した経験的臨床能力の育成が必要である。Hard-mindとSoft-mindをどのように患者個人に適応するかは、個々のケースで異なり、豊富な臨床経験が必要であるが、このような観点は現在の医学教育においても最も欠けている要素である。過去数年間、本学医学部は問題解決型養育の導入とともに心の教育（ケアマインド教育＝Soft-mind教育）に取り組んできた。臨床実習の現場でこれらの取り組みと科学的知識が適切に融合されることが重要であるが、教育の現場では、これらを融合させるためのプログラムを実行するに至っていなかった。

今回の取り組みでは、**現在継続的に行っているSoft-mind教育とHard-mind教育の成果を実習の中で活かしつつ、最終的に臨床実習の場において融合し、多面的に評価することによって、患者が求める臨床医を養成することにある。**本プログラムはステップ1から4で形成される。ステップ1での1年次のHard-mind教育とSoft-mind教育および経験教育は、教養教育とケアマインド教育および老人福祉施設実習、ステップ2の2-3年次は基礎医学教育と医療行動学および保育所・障害者施設、ステップ3は臨床医学・臨床技能教育と臨床実習準備教育、ステップ4は最終段階として統合的な臨床実習からなる。評価としては、従来からの医学部教員による基礎医学・臨床医学の知識、画像読映能力、臨床推論能力などの評価に加え、看護師による性格、精神状態などの把握の評価と本人および家族からの患者自身への態度や気配りなど評価を加味する。さらに、「医師としての適性」をもって概略評価とする。最終的には学生が科学的根拠に基づいた診断と患者の精神的・社会的背景に応じて作成した臨床的な治療方針を教員と看護師が総合的に評価する。評価を基に臨床医としての実践的な能力、患者に満足を与えられる医療を提供できる能力をもっているかをフィードバックし、PDCAサイクルを機能させることで、患者が求める臨床医を養成する。さら

に各評価の内容について解析するとともに、臨床研修医についても同様の評価を行い、臨床医として重要な要素の解析も行う。



【お問合せ先】

和歌山県立医科大学 教育研究開発センター

大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラムとは

大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム（大学における教育の質保証の取組の高度化）は、各大学・短期大学・高等専門学校から申請された、各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としています。

[独立行政法人日本学術振興会 大学教育推進プログラムのページより引用]

* [文部科学省 HP\[外部リンク\]](#)

* [独立行政法人日本学術振興会 web サイト\[外部リンク\]](#)